

民俗芸能祭 in ひょうご

入場
無料

県内各地から集まったさまざまな民俗芸能が披露されます。
それぞれ独自の衣装や音楽、演目があります。その違いを見比べながら楽しんでください!

宇原獅子舞
(宍粟市)市指定



羽瀧獅子舞
(朝来市)市指定



播州音頭
(加西市)



別所西獅子舞
(姫路市)市指定



日時

令和8年10月25日(日)

13:00~15:30 (開場12:30)

会場

山崎文化会館(サンホールやまさき)

兵庫県宍粟市山崎町鹿沢88-1

- 主催: 兵庫県無形・民俗文化財保護協会
- 共催: 兵庫県教育委員会 宍粟市教育委員会
- 協力: 兵庫県無形民俗文化財ヘリテージマネージャー会



うばらししまい
宇原獅子舞 (宍粟市)

市指定

兵庫県宍粟市の山あい位置する宇原地区は、約150世帯で370人程が暮らす小さな集落です。この地区で長年にわたり受け継がれてきた伝統芸能が宇原獅子舞です。

いわゆる「毛獅子」と呼ばれる獅子舞で、演目に梯子を用いるのが大きな特徴です。毛獅子・梯子獅子は県内では姫路周辺に分布し、江戸時代に飾西の護持地区から伝わったと言われています。

安政5年(1858)に山崎藩主本多氏の祝賀祭にて奉納したとの記録が残し、使用している太鼓の内側には、万治3年(1660)の銘があります。12種類の演目があり、低い姿勢で獅子が生きているかのように舞うのが特徴です。昭和62年(1987)には、旧宍粟郡山崎町の無形民俗文化財として指定され、現在は宍粟市の無形民俗文化財として指定されています。

保存会は、「宇原獅子舞を活かした地域おこしと地域貢献」を理念に、伝統文化の継承と地域活性化に取り組んでいます。約10年の間、保存会は地域外からの受け入れや女性の参画、ICTを活用した稽古などの工夫に取り組み、若い世代や女性も活躍する組織に成長しました。これらの取り組みは全国的に評価され、各種賞の受賞やメディア出演、国際配信などを通じて日本の伝統文化を世界に発信しています。今後も本質を守りながら、持続可能な伝統芸能の継承と進化を目指します。

ばんしゅうおんど
播州音頭 (加西市)



加西市播州音頭踊保存会は、加西市で播州音頭の継承と普及に取り組んでいます。播州音頭とは播州地方に伝わる盆踊り唄の一つです。明治の頃、三木の吉川音頭を基に生まれた山田音頭をルーツに持ち、それが播州一円に広がるうちに播州音頭と呼ばれるようになりました。曲節はゆっくりとしたテンポで、一人ないし二人一組の唄い手が太鼓に合わせて唄います。盆踊りの伴奏に過ぎないという地位であった音頭に、歌謡としての音楽性や音頭とり(唄い手、太鼓打ち)の個性が出る部分が加わったこと、習得方法が確立したことなどから、師弟関係を通して播州に広く普及し、大正から昭和初期頃に最盛期を迎えました。いくつもの曲目が伝わる播州音頭ですが、私たちが特に大切にしている曲が『北条情話』です。これは酒見北条(現・加西市北条町北条)に江戸時代より伝わる若い男女の悲恋物語を基に、昭和初期頃、加西にて一派を成した播州音頭の師匠、高田小蝶が作り上げたもので、彼の代表作といわれています。原曲は30分以上ありますが、昭和の終わり頃、15分程度に編集したものが作られました。私たちはこの『北条情話』を毎年7、8月頃、播州地方の各音頭保存会で作る「播州音頭踊保存連合会」の研究発表会で披露しています。現在は8月の播州音頭の集い、10月の公民館文化祭、11月の加西市文化祭で披露するなどの活動を続けています。

はぶらししまい
羽瀧獅子舞 (朝来市)

市指定

羽瀧獅子舞は、200年以上前の江戸時代に播州甘地から伝わったといわれています。戦時中に一旦、伝統が途切れてしまいましたが、昭和49年(1974)に地区の青年たちが保存会を発足し、復活させ今年で52年目を迎えています。現在は、小学校低学年までの児童2名が扮する囃子(ばやしこ)に獅子が絡んでいく「屋島」「トウヒャブロ」と呼ばれる基本的な演目をはじめ、牡丹や鞠に獅子が絡む「切牡丹」「花懸かり」、大人の肩の上に子どもの獅子が立つ「お山の道中」など19の演目で構成されています。演目によっては「ひょっとこ」「狐」「天狗」など様々な役が登場します。なかでも一頭の獅子が舞い疲れ昼寝をしたところに現れた「おたやん」がこれ幸いと大好物のノミ取りを始め、怒り心頭で獅子が荒れ狂うという面白おかしい演目もあります。

保存会では、10月の秋祭りに向けて9月上旬から地区の子どもたちや大人たちが集まり、毎晩練習を行います。秋祭りの日には、午前地区内の全戸を2組に分かれ、1戸ずつ訪問し、「清め」と呼ばれる演目を行い、村中を清めていきます。午後には氏神様である一宮神社の秋季例大祭に奉納獅子舞として、秋の収穫とともに衣食住の神様に楽しんでもらおうと感謝を込めて舞います。昭和53年に朝来市(旧朝来町)の無形民俗文化財に指定されています。少子高齢化や人口減少などで担い手不足が深刻ですが、秋祭り以外にも地域のイベントや記念式典等への出演も行っており、先人たちの繋いできた伝統を毎年工夫しながらつなげています。

べっしよにししまい
別所西獅子舞 (姫路市)

市指定

別所西獅子舞は古く応永の頃(1394~1427年)から受け継がれており、獅子どころと言われる播州地方で大塩天満宮をはじめ周辺神社に影響を与え獅子舞の原点とされています。

獅子の形態は全国各地で行われている神楽獅子ではなく、毛獅子と称される野生の獅子になっており、野獅子を現すための細かい動きによって、威嚇し、怯え、喜ぶ様を演じます。

獅子舞を奉納する目的は五穀豊穡と子孫繁栄です。獅子は雄雌からなり容姿を異にしています。雄は威風堂々の貫禄、雌は優しく優雅な中にも気品を感じさせます。

雄は野生ながらも奏でられる曲に陶醉して舞い、その威容を誇りつつも勇敢なる剣豪には降伏し、能ある里人にあやつられて牙をおさめて服従する様子を行います。雌は猛獣の威を忘れ、花に戯れたり、蝶に誘われて静かに舞続け、女性の艶やかさと愛らしさが一体となって遊び、さらには猿と共に仲良く遊ぶ様を行います。

獅子舞保存会は昭和53年(1978)に創設され、まもなく50年になります。平成11年(1999)には姫路市指定重要無形民俗文化財の指定を受け、普段は主に姫路市のイベントに数多く参加し活動しています。



**兵庫県無形・民俗文化財
保護協会とは**

兵庫県内の無形文化財と民俗文化財の保存団体が加盟している団体です。無形・民俗文化財の保護と普及・啓発を目的として平成12年に設立されました。獅子舞・鬼追い・田楽・風流踊りなど多くの団体が加盟しています。

お問い合わせ

兵庫県無形・民俗文化財保護協会事務局 兵庫県教育委員会事務局 文化財課内

TEL: 078-362-3783 URL: <http://hyomuminkyoo.jp/>

